

## 6月の日本留学試験(EJU)結果

## 進学クラス平均 267.6 点

世界平均を 32.3 ポイント上回る

「日本語」校内ベスト5 (400点満点)				
順位	クラス	氏名	出身	得点
1	A	陳 凱琳	香港	358
2	A	譚 志瀝	マカオ	355
3	A	關 力恒	香港	346
4	A	林 橋崴	台湾	342
5	A	蔡 冠廷	台湾	334

## 校内トップは香港の学生

6月18日に世界74の国・地域で実施された2023年度第1回日本留学試験(EJU)の結果が、7月下旬に発表されました。

国内外の総受験者数は22,602人でした。(2021年は16,167人、2022年は13,930人)

今年度は進学クラスが3クラス体制ということもあり、校内からの受験者が多く、在校生計45人(うち進学クラス39人)が試験に挑みました。

試験の結果、陳凱琳さん(香港)が日本語で358点を獲得し、校内トップでした。世界最高点は374点でした。

進学クラス(A、B、C)の平均点は267.6点で、全受験者の平均235.3点を32.3ポイントも上回る好成績でした。

## 「読解」で世界最高点

得点状況を分野別に見ると、「読解」(200点満点)では、陳凱琳さん、關力恒さん(香港)が世界最高の198点を獲得しました。

進学クラスの平均は148.8点で、全受験者の平均134.4点を14.4ポイント上回りました。

## 「聴読解・聴解」でも世界最高点

「聴読解・聴解」(200点満点)でも、譚志瀝さん(マカオ)が世界最高の176点をマークしました。次いで陳凱琳さん、Shrestha Kenishさん(ネパール)が160点を記録しました。

進学クラスの平均は118.8点で、全受験者の平均100.9点を17.9ポイント上回っています。

## 校内受験者の8割が200点以上

日本語能力試験(JLPT)のN2レベル相当とされる200点以上を獲得したのは、45人中36人でした。

「記述」(50点満点)の進学クラスの平均点は39.2点でした。

## 基礎教科でも好成績

EJUでは、日本語の他に数学や理科などの基礎教科の試験もありますが、理系の分野では、呉語瀚さん(台湾)が「数学」、「物理」、「化学」の合計(400点満点)で校内最高の277点を獲得しました。

また、文系の分野では、林橋崴さん(台湾)が「総合科目」(200点満点)で校内最高の150点でした。